

【参考資料】

財務諸表等

※本市未承認の資料である。

令和 3 年度

財 務 諸 表

第 1 事業年度

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日



地方独立行政法人 天王寺動物園

目次

1	貸借対照表	1
2	損益計算書	3
3	キャッシュ・フロー計算書	4
4	利益の処分に関する書類	5
5	行政サービス実施コスト計算書	6
6	注記	7
7	附属明細書	10

貸借対照表
(令和4年3月31日)

(単位：円)

資産の部

I 固定資産

1 有形固定資産

建物	4,060,236,245	
減価償却累計額	<u>△345,830,324</u>	3,714,405,921
構築物	318,307,353	
減価償却累計額	<u>△26,466,151</u>	291,841,202
機械装置	40,301,593	
減価償却累計額	<u>△2,406,760</u>	37,894,833
車両運搬具	3,300,675	
減価償却累計額	<u>△1,748,194</u>	1,552,481
工具器具備品	34,311,491	
減価償却累計額	<u>△11,530,814</u>	22,780,677
建設仮勘定		<u>64,193,000</u>
有形固定資産合計		4,132,668,114

2 無形固定資産

電話加入権		<u>12,000</u>
無形固定資産合計		12,000

3 投資その他資産

破産更生債権		<u>19,968</u>
投資その他資産合計		19,968

固定資産合計 4,132,700,082

II 流動資産

現金及び預金	453,665,217
未収金	78,459,747
たな卸資産	23,921
前払費用	27,962
立替金	<u>73,544</u>

流動資産合計 532,250,391

資産合計 4,664,950,473

貸借対照表
(令和4年3月31日)

(単位：円)

負債の部			
I	固定負債		
	資産見返負債		
	資産見返運営費交付金	25,404,273	
	資産見返寄附金	988,200	
	資産見返物品受贈額	334,302,170	
	建設仮勘定見返運営費交付金	38,389,000	
	建設仮勘定見返施設費	25,804,000	424,887,643
	長期寄附金債務		80,939,283
	固定負債合計		505,826,926
II	流動負債		
	寄附金債務	23,520,052	
	未払金	289,700,488	
	未払消費税等	15,877,800	
	預り金	37,684,844	
	流動負債合計		366,783,184
	負債合計		872,610,110
純資産の部			
I	資本金		
	地方公共団体出資金	4,051,662,000	
	資本金合計		4,051,662,000
II	資本剰余金		
	資本剰余金	12,000	
	損益外減価償却累計額	△345,627,878	
	資本剰余金合計		△345,615,878
III	利益剰余金		
	当期末処分利益	86,294,241	
	(うち当期総利益)	(86,294,241)	
	利益剰余金合計		86,294,241
	純資産合計		3,792,340,363
	負債純資産合計		4,664,950,473

損益計算書
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位：円)

経常費用			
業務費			
人件費	519,112,610		
水道光熱費	229,839,138		
業務委託料	213,951,592		
飼料費	84,880,675		
その他業務費用	107,528,532		
減価償却費	42,482,102	1,197,794,649	
一般管理費			
人件費	120,666,458		
その他一般管理費	71,005,646	191,672,104	
雑損		4,730	
経常費用合計			1,389,471,483
経常収益			
運営費交付金収益		1,138,006,996	
事業収益			
入園料収入	238,399,022		
寄附金収益	13,292,846		
広告料収入	1,810,000		
ファンクラブ収入	8,833,800		
雑益	8,701,304		
使用料収益	24,264,305	295,301,277	
資産見返負債戻入			
資産見返運営費交付金戻入	831,731		
資産見返寄附金戻入	109,800		
資産見返物品受贈額戻入	42,151,976	43,093,507	
経常収益合計			1,476,401,780
経常利益			86,930,297
臨時損失			
固定資産除却損		636,056	
消耗品費		89,150,045	89,786,101
臨時利益			
物品受贈益		89,150,045	89,150,045
当期純利益			86,294,241
目的積立金取崩額			0
当期総利益			86,294,241

キャッシュ・フロー計算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位：円)

I	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	運営費支出	△520,471,546
	人件費支出	△594,383,244
	その他の業務支出	△4,730
	入園料収入	215,048,295
	運営費交付金収入	1,202,632,000
	寄附金収入	117,079,181
	その他の収入	14,284,421
	預り金等受払	37,684,844
	業務活動によるキャッシュ・フロー	471,869,221
II	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	△18,204,004
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,204,004
III	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	財務活動によるキャッシュ・フロー	0
IV	資金増加額	453,665,217
V	資金期首残高	0
VI	資金期末残高	453,665,217

利益の処分に関する書類

(令和4年3月31日)

(単位：円)

I 当期末処分利益		86,294,241
当期総利益	86,294,241	
II 利益処分額		
積立金	86,294,241	
地方独立行政法人第40条第3項により設立団体の長の 承認を受けようとする額		
	<u>0</u>	<u>86,294,241</u>

行政サービス実施コスト計算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位：円)

I 業務費用			
(1) 損益計算書上の費用			
業務費	1,197,794,649		
一般管理費	191,672,104		
雑損	4,730		
臨時損失	<u>89,786,101</u>	1,479,257,584	
(2) (控除) 自己収入等			
事業収入	△238,399,022		
その他収益	△43,609,409		
資産見返寄附金戻入	△109,800		
寄付金収益	<u>△13,292,846</u>	<u>△295,411,077</u>	
業務費用合計			1,183,846,507
II 損益外減価償却費相当額			345,627,878
III 引当外賞与増加(△減少)見積額			37,587,454
IV 引当外退職給付増加(△減少)見積額			△61,656,181
V 機会費用			
国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による賃貸取引の機会費用			
	847,880,000		
地方公共団体出資の機会費用			
	<u>7,822,840</u>		<u>855,702,840</u>
VI 行政サービス実施コスト			<u>2,361,108,498</u>

注 記

地方独立行政法人会計基準及び地方独立行政法人会計基準注解（平成30年3月30日総務省告示第125号改訂）及び「地方独立行政法人会計基準及び地方独立行政法人会計基準注解」に関するQ&A（総務省自治行政局、総務省自治財政局、日本公認会計士協会 平成30年5月改訂）を適用して、財務諸表等を作成しています。

I 重要な会計方針

1 運営費交付金収益の計上基準

原則として業務達成基準を採用しております。

なお、業務の進行の度合いが運営費交付金財源と期間的に対応していると考えられる場合は、期間進行基準を採用しております。また、期中に複数の突発的な業務が発生し、当該業務の予算、期間等を見積もることができない等、業務と運営費交付金との対応関係が明らかにできない場合は、費用進行基準を採用しております。

2 減価償却の会計処理方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しております。

耐用年数については、法人税法の耐用年数を基準としておりますが、主な資産の耐用年数は以下のとおりであります。

建物	2年～38年
構築物	2年～45年
機械装置	4年～16年
工具器具備品	2年～14年

また、特定の償却資産（地方独立行政法人会計基準第87）の減価償却相当額については、損益外減価償却累計額として資本剰余金から控除して表示しております。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

3 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金及び見積額の計上基準

賞与については、運営費交付金により財源措置がなされるため、賞与引当金を計上していません。

なお、行政サービス実施コスト計算書における引当外賞与増加見積額は、地方独立行政法人会計基準第88に基づき計算された当事業年度末の引当外賞与見積額から当期事業年度当初の同見積額を控除した額を計上しております。

(2) 退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準

退職一時金については、運営費交付金により財源措置がなされるため、退職給付引当金を計上していません。

なお、行政サービス実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額は、地方独立行政法人会計基準第89第4項に基づき計算された退職一時金に係る退職給付引当金の当期増加額を計上しております。

4 たな卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による低価法を採用しております。

5 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

- (1) 国又は地方公共団体の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法

地方公共団体の条例における使用料算出基準等を参考として計算しております。

- (2) 地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の令和4年3月末利回りを参考に0.210%で計算しております。

6 リース取引の会計処理

リース料総額300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っております。

7 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理方式は、税込方式によっております。

II 貸借対照表関係

- | | |
|--------------------------------|--------------|
| 1 翌期の運営費交付金から充当されるべき賞与の見積額 | 37,587,454円 |
| 2 翌期以降の運営費交付金から充当されるべき退職給付の見積額 | 318,180,013円 |
- (大阪市からの派遣職員に対する退職給付の見積金額は上記金額から除外しております。)

III キャッシュ・フロー計算書関係

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳 | |
| 現金及び預金 | <u>453,665,217円</u> |
| 資金期末残高 | <u>453,665,217円</u> |
| 2 重要な非資金取引 | |
| (1) 現物出資の受入による資産の取得 | |
| 建物 | 653,000,000円 |
| (2) 現物寄附の受入 | |
| 工具器具備品 | 1,771,000円 |

IV 行政サービス実施コスト計算書関係

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 1 引当外賞与増加見積額のうち大阪市からの派遣職員分 | 11,514,611円 |
| 2 引当外退職給付見積額のうち大阪市からの派遣職員分 | △34,481,978円 |

V 金融商品関係

- 1 金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については短期的な預金並びに国債、地方債及び政府保証債等に限定しております。

2 金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、以下のとおりです。

(単位：円)

	貸借対照表計上額※	時価	差額
(1) 現金及び預金	453, 665, 217	453, 665, 217	—
(2) 未収入金	78, 459, 747	78, 459, 747	—
(3) 未払金	(289, 700, 488)	(289, 700, 488)	—

※負債に計上されているものは、() で示しております。

(注) 金融商品の時価の算定方法

(1) 現金及び預金、(2) 未収入金、(3) 未払金については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから当該帳簿価額によっております。

VI 資産除去債務

該当する事項はありません。

VII 賃貸等不動産の時価等に関する事項

賃貸等不動産については、総額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

VIII 重要な債務負担行為

当事業年度末までに契約を締結し、翌年度以降に支払いが発生する重要なものは次のとおりです。

(単位：円)

契約名称	契約額	翌事業年度以降の 支払額
天王寺動物園・慶沢園出改札及び来園者案内 等業務委託 長期継続	151, 301, 147	98, 199, 068
天王寺動物公園内警備業務委託 長期継続 — 2	151, 698, 906	98, 538, 343
天王寺動物園等電気機械設備管理業務委託 長期契約	203, 241, 304	11, 020, 991
天王寺動物園ESCO事業	297, 582, 973	195, 360, 000

IX 重要な後発事象

該当する事項はありません。

附属明細書

1 固定資産の取得及び処分、減価償却費（「第87 特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第91 資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）並びに減損損失の明細

(単位：円)

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期 末残高	摘要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産 (償却費損益内)	建物	0	8,574,245	0	8,574,245	202,446	202,446	0	0	0	8,371,799	(注1)
	構築物	313,186,419	5,884,727	763,793	318,307,353	26,466,151	26,593,888	0	0	0	291,841,202	(注2)
	機械装置	32,383,593	7,918,000	0	40,301,593	2,406,760	2,406,760	0	0	0	37,894,833	(注3)
	車両運搬具	3,300,675	0	0	3,300,675	1,748,194	1,748,194	0	0	0	1,552,481	
	工具器具備品	27,583,459	6,728,032	0	34,311,491	11,530,814	11,530,814	0	0	0	22,780,677	(注4)
	計	376,454,146	29,105,004	763,793	404,795,357	42,354,365	42,482,102	0	0	0	362,440,992	
有形固定資産 (償却費損益外)	建物	3,398,662,000	653,000,000	0	4,051,662,000	345,627,878	345,627,878	0	0	0	3,706,034,122	(注5)
	計	3,398,662,000	653,000,000	0	4,051,662,000	345,627,878	345,627,878	0	0	0	3,706,034,122	
非償却資産	建設仮勘定	0	64,193,000	0	64,193,000	0	0	0	0	0	64,193,000	(注6)
	計	0	64,193,000	0	64,193,000	0	0	0	0	0	64,193,000	
有形固定資産 合計	建物	3,398,662,000	661,574,245	0	4,060,236,245	345,830,324	345,830,324	0	0	0	3,714,405,921	
	構築物	313,186,419	5,884,727	763,793	318,307,353	26,466,151	26,593,888	0	0	0	291,841,202	
	機械装置	32,383,593	7,918,000	0	40,301,593	2,406,760	2,406,760	0	0	0	37,894,833	
	車両運搬具	3,300,675	0	0	3,300,675	1,748,194	1,748,194	0	0	0	1,552,481	
	工具器具備品	27,583,459	6,728,032	0	34,311,491	11,530,814	11,530,814	0	0	0	22,780,677	
	建設仮勘定	0	64,193,000	0	64,193,000	0	0	0	0	0	64,193,000	
	計	3,775,116,146	746,298,004	763,793	4,520,650,357	387,982,243	388,109,980	0	0	0	4,132,668,114	
無形固定資産	電話加入権	12,000	0	0	12,000	0	0	0	0	0	12,000	
	計	12,000	0	0	12,000	0	0	0	0	0	12,000	
投資その他の 資産	その他	0	19,968	0	19,968	0	0	0	0	0	19,968	(注7)
	計	0	19,968	0	19,968	0	0	0	0	0	19,968	

(注1) 建物の増加額の主な内訳は以下の通りです。

動物病院ユニットバス	1,988,367 円
鳥の楽園自動ドア	1,314,963 円
ヒョウ舎建具補修工事（水平扉）	612,865 円
ヒョウ舎建具補修工事（垂直扉）	1,840,135 円
鳥の楽園 デッキ下管理室扉	1,266,161 円

(注2) 構築物の増加額及び減少額の主な内訳は以下の通りです。

オオカミ舎バックヤード通路舗装（増加）	2,469,690 円
てんしばゲート通用門（増加）	2,233,000 円
門扉 両開き（減少）	763,793 円

(注3) 機械装置の増加額の主な内訳は以下の通りです。

紫外線発生装置	6,820,000 円
---------	-------------

(注4) 工具器具備品の増加額の主な内訳は以下の通りです。

ホッキョクグマ舎空調設備	1,760,000 円
ビュアウォッシャー	1,771,000 円

(注5) 建物の増加額の内訳は以下の通りです。

大阪市より現物出資	653,000,000 円
-----------	---------------

(注6) 建設仮勘定の増加額の内訳は以下の通りです。

ホッキョクグマ舎新築整備事業における業務委託料	61,240,000 円
第一期リニューアル工事基本計画策定等発注支援 業務委託（その1）	2,953,000 円

(注7) 投資その他資産の増加額の内訳は以下の通りです。

契約違約金の発生	19,968 円
----------	----------

2 たな卸資産の明細

(単位：円)

種類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・製造・振替	その他	当期購入・製造・振替	その他		
貯蔵品	0	160,672	0	136,751	0	23,921	切手等
合計	0	160,672	0	136,751	0	23,921	

3 有価証券の明細
該当事項はありません。4 長期貸付金の明細
該当事項はありません。5 長期借入金の明細
該当事項はありません。6 引当金の明細
該当事項はありません。7 資産除去債務の明細
該当事項はありません。8 保証債務の明細
該当事項はありません。

9 資本金および資本剰余金の明細

(単位：円)

区分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
資本金	地方公共団体出資金	3,398,662,000	653,000,000	0	4,051,662,000	大阪市より現物出資
	計	3,398,662,000	653,000,000	0	4,051,662,000	
資本剰余金	資本剰余金					
	設立団体からの譲与	12,000	0	0	12,000	大阪市より現物寄附
	計	12,000	0	0	12,000	
	損益外減価償却累計額	0	△ 345,627,878	0	△ 345,627,878	特定償却資産の減価償却
	計	12,000	△ 345,627,878	0	△ 345,615,878	

10 積立金等の明細及び目的積立金の取崩しの明細

(1) 積立金の明細
該当事項はありません。(2) 目的積立金の取崩しの明細
該当事項はありません。

11 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

(1) 運営費交付金債務の増減の明細

(単位：円)

交付年度	期首残高	交付金当期 交付額	当期振替額					期末残高
			運営費交付金収益	資産見返 運営費交付金	建設仮勘定見 返運営費交付金	資本剰余金	小計	
令和3年度	0	1,202,632,000	1,138,006,996	26,236,004	38,389,000	0	1,202,632,000	0
合計	0	1,202,632,000	1,138,006,996	26,236,004	38,389,000	0	1,202,632,000	0

(2) 運営費交付金債務の当期振替額及び使途の明細

① 運営費交付金収益への振替額及び主な使途の明細

(単位：円)

区分	運営費交付金収益	運営費交付金の主な使途	
		費用	主な使途
業務達成基準による振替額	946,334,892	946,334,892	人件費：518,908千円、 園運営事業費：427,427千円
期間進行基準による振替額	191,672,104	191,672,104	人件費：120,666千円、 法人管理費：71,006千円
費用進行基準による振替額	0	0	
会計基準第79条5項による振替額	0	0	
合計	1,138,006,996	1,138,006,996	

②資産見返運営費交付金及び資本剰余金への振替額並びに主な使途の明細

(単位：円)

資産見返運営費交付金への振替			資本剰余金への振替	
セグメント	振替額	主な使途	振替額	主な使途
法人	26,236,004	紫外線発生装置：6,820,000 鳥の楽園自動扉ほか工事：5,667,179 各動物舎空調設備修繕：3,053,014 バックヤード舗装工事：2,469,690 ヒョウ舎建具補修工事：2,453,000 てんしばゲート通用門補修工事：2,233,000 園内動物病院検疫強化・感染対策工事：1,988,367 爬虫類生態館建具改修工事：1,551,754	0	
合計	26,236,004		0	

③建設仮勘定見返運営費交付金への振替額並びに主な使途の明細

(単位：円)

建設仮勘定見返運営費交付金への振替		
セグメント	振替額	主な使途
法人	38,389,000	ホッキョクグマ舎新築整備事業における業務委託料
合計	38,389,000	

(3) 運営費交付金債務残高の明細

(単位：円)

運営費交付金債務残高		使用見込み
業務達成基準を採用した業務に係る分	0	

12 運営費交付金以外の設立団体等からの財源措置の明細

(1) 施設費の明細

(単位：円)

区分	当期交付額	左の会計処理内訳			摘要
		建設仮勘定見返施設費	資本剰余金	その他	
施設整備費補助金	25,804,000	25,804,000	0	0	
計	25,804,000	25,804,000	0	0	

(2) 補助金等の明細

該当事項はありません。

13 役員及び職員の給与の明細

(単位：千円、人)

区分	報酬又は給与		退職手当	
	支給額	支給人員	支給額	支給人員
役員	(4,788)	(2)	(一)	(0)
	22,206	2	—	0
職員	(3,979)	(2)	(一)	(0)
	470,465	74	42,885	2
合計	(8,767)	(4)	(一)	(0)
	492,671	76	42,885	2

- (注1) 役員に対する報酬等の基準、職員に対する給与及び退職手当の支給基準の概要
役員報酬については、地方独立行政法人天王寺動物園役員報酬規程に基づき支給しております
職員については、地方独立行政法人天王寺動物園職員給与規定、地方独立行政法人天王寺動物園期末手当及び勤勉手当に関する規定、地方独立行政法人天王寺動物園職員退職手当規定に基づき支給しております。
- (注2) 支給人員は、年間平均支給人員を記載しております。
- (注3) 本表の支給額合計には、法定福利費は含まれておりません。
- (注4) 非常勤の役員・職員については、外数として()内に記載しております。
- (注5) 上表は千円以下を四捨五入して表記しております。

14 セグメント情報

該当事項はありません。

15 科学研究費補助金等の明細

該当事項はありません。

16 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

現金及び預金の明細 (単位：円)

区分	期末残高	備考
現金	204,763	
普通預金	453,460,454	
計	453,665,217	

未収金の明細 (単位：円)

区分	期末残高	備考
入園料未収金	23,350,727	
施設整備費補助金	25,804,000	
その他	29,305,020	園内外売店販売売上歩合等
計	78,459,747	

未払金の明細 (単位：円)

区分	期末残高	備考
人件費関係	45,469,368	
一般管理費	37,918,539	
業務費	132,989,581	
その他	73,323,000	
計	289,700,488	

17 関連公益法人等に関する明細

該当事項はありません。

令和3年度

決 算 報 告 書

第1期事業年度

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日



地方独立行政法人 天王寺動物園

決算報告書

第 1 期事業年度

(令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	1,203	1,203	0	
施設整備費補助金	26	26	0	
自己収入	375	318	▲ 57	
事業収入	265	238	▲ 27	(注 1)
その他収入	110	80	▲ 30	(注 2)
計	1,604	1,547	▲ 57	
支出				
業務費	1,371	1,155	▲ 216	
業務経費	826	636	▲ 190	(注 3)
人件費	545	519	▲ 26	
一般管理費	207	192	▲ 15	
施設整備費	26	26	0	
計	1,604	1,373	▲ 231	

※百万円未満四捨五入のため計と一致しないことがあります。

(注 1) コロナ禍による入園者数の減によるものです。

(注 2) 大阪市からの負担金収入の減（動物園、大阪市一括発注業務委託の減）によるものです。

(注 3) 改修工事発注金額の減によるものです。

令和3年度

事業報告書

第1事業年度

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日



地方独立行政法人 天王寺動物園

目次

1	はじめに	1
2	法人の基本情報	
(1)	法人の概要	
①	目的	2
②	業務内容	2
③	沿革	2
④	設立に係る根拠法	2
⑤	組織図	2
(2)	事務所の所在地	3
(3)	資本金の額及び出資者ごとの出資額	4
(4)	役員の状況	5
(5)	常勤職員の状況	5
3	財務諸表の要約	
(1)	要約した財務諸表	
①	貸借対照表	6
②	損益計算書	6
③	キャッシュ・フロー計算書	7
④	行政サービス実施コスト計算書	7
(2)	財務諸表の科目説明	
①	貸借対照表	8
②	損益計算書	8
③	キャッシュ・フロー計算書	9
④	行政サービス実施コスト計算書	9
4	財務情報	
(1)	財務諸表の概要	
①	経常費用、経常収益、当期総損益、資産、負債、 キャッシュ・フローなどの主要な財務データの分析（内容）	10
②	行政サービス実施コスト計算書の分析（内容）	10
(2)	重要な施設等の整備等の状況	
①	当事業年度中に完成した施設等及び当年度において継続中の 施設等の新設・拡充	10
②	当事業年度中に処分した施設	10

(3) 予算及び決算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

(4) 業務経費等の削減・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

5 事業の説明

(1) 財源の内訳・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

1 はじめに

地方独立行政法人天王寺動物園は、動物園としては全国初の地方独立行政法人として令和3年4月1日に発足しました。

当法人は、公立動物園の使命である社会教育施設として、動物の生態に関する調査研究及び教育活動を行い、併せて絶滅のおそれのある動物の繁殖や種の保存に資する活動を行うことにより、動物の生態についての市民の理解と関心を深めるとともに、環境保全に関する市民の意識の醸成を図り、もって生物多様性の保全に寄与することを目的としています。

法人化に合わせ、飼育部門の体制強化を行い、動物福祉の向上に努め「ひとにも動物にもやさしい動物園」を目指し取り組んでいます。

法人初年度である令和3年度は、前年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響を受け臨時休園を余儀なくされたこともあり、入園者数は839,003人とどまりました。

そのような状況の中、運営部門では、あらたに公式Twitterを開設し、よりタイムリーな情報発信を行うとともに、休園期間中にはライブ配信を行うなど、積極的な情報発信を行いました。また、来園者アンケートで寄せられた意見を踏まえて各種改善を行うなど、よりよい園運営に取り組みました。さらに、新たなファンクラブ制度の立ち上げやAmazon「ほしいものリスト」を活用するなど、より多くの方から当法人をご支援いただけるよう入園料外収入の確保にも力を入れました。

飼育部門では、環境エンリッチメントやハズバンダリートレーニングなどの動物福祉の向上にも力を入れ、対象の動物種を拡充することができました。

今後は、令和7年に開催される「大阪・関西万博」に向けて、複数獣舎の整備を行い、動物福祉の向上と動物園のさらなる魅力向上に向けて、取り組んでまいります。

2 法人の基本情報

(1) 法人の概要

① 目的

地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）に基づき、動物園を設置して、動物を導入し、飼育して公衆の観覧に供するとともに、動物の生態に関する調査研究及び教育活動を行い、併せて絶滅のおそれのある動物（以下「希少動物」という。）の繁殖その他希少動物の種の保存に資する活動を行うことにより、動物の生態についての市民の理解と関心を深めるとともに、環境保全に関する市民の意識の醸成を図り、もって生物多様性の保全に寄与することを目的とする。

② 業務内容

地方独立行政法人天王寺動物園定款第16条に定める下記の業務を行う。

- 1) 動物園を設置すること
- 2) 動物を導入し、飼育して公衆の観覧に供すること
- 3) 動物に関する資料を収集し、整理し、及び提供すること
- 4) 動物の生態に関する調査研究を行うこと
- 5) 動物の生態に関する教育活動を行うこと
- 6) 希少動物の繁殖その他希少動物の種の保存に資する活動を行うこと
- 7) 他の動物園、水族館、学校その他の国内外の関係機関と連携し、及び協働すること
- 8) 前各号に掲げる業務に附帯する業務を行うこと

③ 沿革

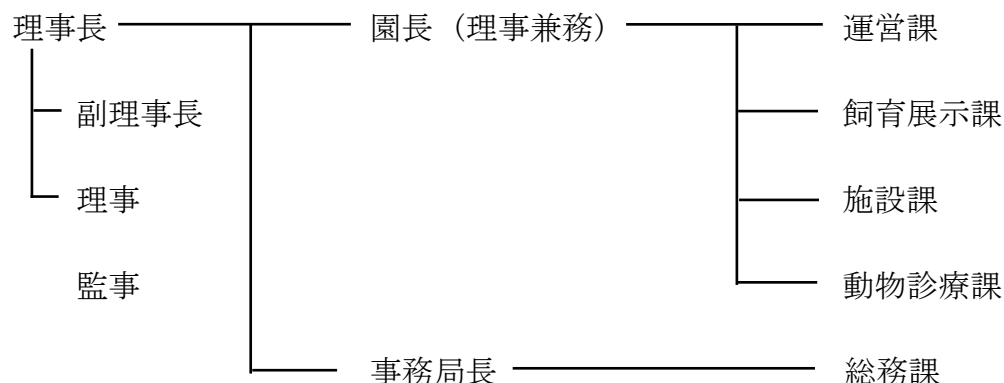
明治17年に、大阪府立博物場附属動物檻として設置、大正4年1月1日に大阪市立動物園として開園。令和3年4月1日に、地方独立行政法人天王寺動物園となる。

④ 設立に係る根拠法

地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）

（最終改正：令和2年6月10日（令和2年法律第41号））

⑤ 組織図（令和4年3月31日現在）



(2) 事務所の所在地

大阪市天王寺区茶臼山町1-108

(3) 資本金の額

資本金は、大阪市が出資する以下の別表に掲げる建物とし、当該資本金の額は当該建物について、出資の日における時価を基準として大阪市が評価した価額の合計額とする。

【別表】

施設名等	所在	延べ床面積（㎡）
展示場、ポンプ室	大阪市天王寺区茶臼山町1番地1	70.44
展示場	同	91.71
獣舎、倉庫	同	249.40
展示場	同	130.68
倉庫	同	131.37
便所	同	13.74
展示場	同	13.88
展示場	同	539.46
事務所・倉庫	同	428.30
展示場	同	345.91
展示場	同	19.44
便所	同	56.12
展示場	同	276.88
便所	同	56.12
展示場・事務所、配電室	同	939.41
店舗・事務所、店舗、店舗	同	401.01
便所	同	42.60
展示場	同	414.43
便所	同	50.01
展示場	同	2527.27
獣舎・機械室	同	624.18
展示場・作業場、展示場	同	99.93
事務所	同	370.98
配電室・事務所	同	67.72
獣舎	同	272.48
展示場	同	671.72
便所	同	54.66
作業所	同	7.46
店舗・集会所・展示場	同	1205.08
展示場	大阪市天王寺区茶臼山町54番地2	73.41
倉庫	同	95.67
倉庫・作業所	同	259.47
倉庫	同	106.86
倉庫	同	126.47
展示場	同	78.50

車庫	同	31.29
展示場	同	62.81
展示場	同	100.35
展示場	同	94.44
展示場	同	210.50
倉庫・車庫	同	659.00
便所	同	37.56
作業所	同	31.92
作業所	同	612.91
獣舎・倉庫	同	213.84
倉庫	同	31.20
獣舎	同	201.00
展示場	同	416.32
倉庫・配電室	同	179.06
展示場	同	273.46
便所・配電室	同	115.20
展示場	同	157.60
店舗	大阪市天王寺区茶臼山町115番地1	51.27
事務所、駐輪場	大阪市天王寺区茶臼山町123番地1、 123番地2、123番地3	1255.05

(4) 役員の状況（役職、氏名、任期、経歴）

（令和4年3月31日現在）

役職	氏名	任期	経歴
理事長	山中 諄 やまなか まこと	自 令和3年4月1日 至 令和7年3月31日 (4年)	昭和40年 南海電気鉄道株式会社入社 平成13年 南海電気鉄道株式会社代表取締役社長 平成19年 南海電気鉄道株式会社代表取締役会長兼CEO 平成27年 南海電気鉄道株式会社取締役会長 平成29年 南海電気鉄道株式会社取締役相談役 令和元年 南海電気鉄道株式会社特別顧問（現任） 令和3年 地方独立行政法人天王寺動物園 理事長（現任）
副理事長	野村 俊明 のむら としあき	自 令和3年4月1日 至 令和5年3月31日 (2年)	昭和59年 大阪市役所入庁 平成6年 収入役室出納課主査 平成9年 建設局管理部庶務課計理係長 平成13年 建設局管理部庶務課長代理 平成16年 建設局管理部監理団体担当課長 平成23年 西淀川区長

			平成25年 こども青少年局青少年担当部長 平成29年 都市計画局理事 平成31年 建設局理事 令和3年 地方独立行政法人 天王寺動物園 副理事長（現任）
園長 (理事兼務)	向井 猛 むかい たけし	自 令和3年4月1日 至 令和5年3月31日 (2年)	昭和60年 札幌市役所入庁 円山動物園 飼育職員・臨床獣医師 平成20年 円山動物園飼育展示課 飼育展示二係長 平成21年 円山動物園飼育展示課 飼育展示一係長 平成24年 札幌市動物管理センター所長 平成28年 札幌市環境都市推進部 環境管理担当課長 令和3年 地方独立行政法人 天王寺動物園 園長（現任）
監事	吉田 恭子 よしだ やすこ	自 令和3年4月1日 至 令和7年3月31日 (4年)	平成12年 朝日監査法人（現・有限責任あずさ監査法人）大阪事務所入所 平成16年 公認会計士登録 平成17年 税理士登録 吉田公認会計士事務所開設 平成24年 大阪市建設局 道頓堀川水辺空間利活用 検討会 有識者委員（現任） 平成31年 大阪有機化学工業株式会社 社外監査役（現任） 令和3年 米国公認会計士（ワシントン州）登録 エスペック株式会社 社外監査役（現任） 地方独立行政法人 天王寺動物園 監事（現任）

(5) 常勤職員の状況（令和4年3月31日現在）

常勤職員は、令和3年度末現在、74人であり、平均年齢は43.3歳となっております。このうち、大阪市からの出向者は18人、退職者は1人です。

3 財務諸表の要約

(1) 要約した財務諸表

① 貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	金額	負債の部	金額
固定資産	4,133	固定負債	506
建物・構築物	4,379	資産見返負債	425
機械装置・工具器具備品等	78	長期寄附金債務	81
減価償却累計額	△388	流動負債	367
建設仮勘定	64	寄附金債務	24
無形固定資産	0	未払金	289
その他固定資産	0	その他流動負債	54
流動資産	532	負債合計	873
現金・預金	454	純資産の部	
未収金	78	地方公共団体出資金	4,052
その他流動資産	0	資本剰余金	△346
		利益剰余金	86
		純資産合計	3,792
資産合計	4,665	負債純資産合計	4,665

※百万円未満を四捨五入のため、各項目の合計と合計欄が合わないことがあります。

② 損益計算書

(単位：百万円)

科目	金額
経常費用	1,389
業務費	1,198
人件費	519
水道光熱費	230
業務委託料	214
飼料費	85
その他業務費用	150
一般管理費	192
人件費	121
その他一般管理費	71
経常収益	1,476
運営費交付金収益	1,138
入園料収入	238
寄付金収益	13
ファンクラブ、広告料収入	11
その他雑益	33
資産見返戻入	43
臨時損失	90
臨時利益	90
当期総利益	86

※百万円未満を四捨五入のため、各項目の合計と合計欄が合わないことがあります。

③ キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	金額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー (A)	472
II 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△18
III 財務活動によるキャッシュ・フロー (C)	0
IV 資金増加額 (D=A+B+C)	454
V 資金期首残高 (E)	0
VI 資金期末残高 (F=D+E)	454

※百万円未満を四捨五入のため、各項目の合計と合計欄が合わないことがあります。

④ 行政サービス実施コスト計算書

(単位：百万円)

科目	金額
I 業務費用	1,184
損益計算書上の費用 (控除) 自己収入等	1,479 △295
II 損益外減価償却相当額	346
III 引当外賞与増加(減少)見積額	38
IV 引当外退職給付増加(減少)見積額	△62
V 機会費用	855
VI 行政サービス実施コスト	2,361

※百万円未満を四捨五入のため、各項目の合計と合計欄が合わないことがあります。

(2) 財務諸表の科目説明

① 貸借対照表

(資産)

建	物	:	建物
構	築	物	: 構築物
機	械	装	置 : 機械装置
工	具	器	具 備 品 等 : 工具器具備品、車両運搬具
建	設	仮	勘 定 : 固定資産で通常の業務活動の用に供することを前提として、建設又は製作途中における当該建設又は製作のために支出した金額及び充当した材料
減	価	償	却 累 計 額 : 上記固定資産の減価償却累計額
無	形	固	定 資 産 : 電話加入権
そ	の	他	固 定 資 産 : 破産更生債権
現	金	及	び 預 金 : 現金、預金
未	収	金	: 入園料収入未収金、その他未収金
そ	の	他	流 動 資 産 : たな卸資産、前払費用、立替金

(負債)

資 産 見 返 負 債	:	運営費交付金、補助金、寄附金、譲渡を財源として取得した固定資産残高の見合いで計上される負債
長 期 寄 附 金 債 務	:	寄附金債務のうち、一年以内に使用されないと認められるもの
寄 附 金 債 務	:	寄附金のうち使途が特定されている寄附金
未 払 金	:	期末における未払金
そ の 他 流 動 負 債	:	未払消費税等、預り金

(純資産)

地方公共団体出資金	:	大阪市からの出資金であり法人の財産的基礎を構成するもの
資本金剰余金	:	資本金及び利益剰余金以外の純資産であって、贈与資本及び評価替え資本が含まれる
利益剰余金	:	法人の業務に関連して発生した剰余金の累計額

② 損益計算書

(経常費用)

業	務	費	:	動物園の運営に係る経費
人	件	費	:	給与、賞与、法定福利費等動物飼育や園運営に従事する職員に要する経費
水	道	光	熱	費 : 水道光熱費
業	務	委	託	費 : 園内警備、清掃作業、ゲート出改札等業務委託費
飼	料	費	:	飼育動物の飼料に要した費用
そ	の	他	業	務 費 用 : 法人の動物園運営等業務に要した経費
減	価	償	却	費 : 固定資産減価償却費
一	般	管	理	費 : 法人の管理運営に要した経費
人	件	費	:	給与、賞与、法定福利費等管理部門に従事する職員に要する経費
そ	の	他	一	般 管 理 費 : 管理運営に要した経費（人件費を除く）

(経常収益)

運 営 費 交 付 金 収 益	:	大阪市から交付を受けた運営費交付金
入 園 料 収 入	:	動物園入園料収入

寄 附 金 収 益 : 寄附金のうち使途が特定されていない寄附金
ファンクラブ収入、広告 : 動物園ファンクラブ会費、広告料収入
料収入
そ の 他 雑 益 : 使用料収益、雑益
資 産 見 返 戻 入 : 運営費交付金、補助金、寄附金、譲渡を財源として取得した固
定資産の減価償却費の見合いで計上される収益
臨 時 損 失 : 固定資産除売却損、減損損失、過年度損益修正額
臨 時 利 益 : 固定資産売却益、過年度損益修正額

③ キャッシュ・フロー計算書

業務活動によるキャッ シュ・フロー : 入園料等サービスの提供等による収入、飼料商品、またはサー
ビスの購入による支出等、投資活動及び財務活動以外の取引に
よるキャッシュ・フロー
投資活動によるキャッ シュ・フロー : 通常の業務活動の実施の基礎となる固定資産の取得及び売却、
投資資産の取得及び売却等によるキャッシュ・フロー
財務活動によるキャッ シュ・フロー : 増減資による資金の収入・支出及び借入れ・返済 による収入・
支出等、資金の調達及び返済によるキャッシュ・フロー

④ 行政サービス実施コスト計算書

業 務 費 用 : 損益計算書上の費用から自己収入等を差し引いた額
損益計算書上の費用 : 損益計算書における費用相当額
(控除) 自己収入等 : 運営交付金に基づく収益及び国又は地方公共団体からの補助
金等に基づく収益以外の収益
損益外減価償却相当額 : 償却資産のうち、その減価に対応すべき収益の獲得が予定され
ていないものとして特定された資産の減価償却相当額
引当外賞与増加(減少) : 賞与に充てるべき財源措置が運営交付金により行われること
見積額 により、引当金を計上しないこととした場合の賞与増加額
引当外退職給付増加(減 少)見積額 : 退職給付に充てるべき財源措置が運営費交付金により行われ
ることにより、引当金を計上しないこととした場合の退職給付
増加見積額
機 会 費 用 : 市場取引ではなく、法人へ無償又は減額された使用料で資産を
賃貸したことで得られなくなった費用
地方公共団体からの出資に対し国債等の利回りを乗じて計算
した機会費用

4 財務情報

(1) 財務諸表の概要

① 経常費用、経常収益、当期純利益、資産、負債、キャッシュ・フローなどの主要な財務データの分析

(内容)

(経常費用)

令和3年度の経常費用は1,389百万円となりました。主な費用は役職員の人件費、動物飼料、清掃や警備等の業務委託費、水道光熱費です。

(経常収益)

令和3年度の経常収益は1,476百万円となりました。経常収益は、運営費交付金収益が大半を占めており、次に入園料収入が多くなっています。

(当期純利益)

令和3年度の当期総利益は、86百万円となりました。

(資産)

今年度は、法人設立にあたり、大阪市から建物の現物出資及び資産の無償譲与を受けました。これらは、資産の部の固定資産となり、純資産の部の資本金、資本剰余金としています。

なお、現物出資された固定資産など特定の償却資産(地方独立行政法人会計基準第87)にかかる減価償却相当額は、損益計算上の費用には計上せず、資本剰余金を減額しています。

(負債)

令和3年度末時点の負債合計は873百万円となりました。

(業務活動によるキャッシュ・フロー)

令和3年度の業務活動によるキャッシュ・フローは472百万円の収入となりました。

これは運営費支出520百万円、人件費支出594百万円、入園料収入215百万円、運営費交付金収入1,203百万円、寄付金収入117百万円、その他収入14百万円、預り金等受払38百万円となったことが主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

令和3年度の投資活動によるキャッシュ・フローは18百万円の支出となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出が18百万円となったことが主な要因です。

(2) 重要な施設等の整備等の状況

① 当事業年度中に完成した施設等及び当年度において継続中の施設等の新設・拡充

箇所	契約額(千円)
ホッキョクグマ舎新築工事基本設計等業務委託	41,000
第一期リニューアル工事基本計画策定等発注支援業務委託(その1)	2,953

② 当事業年度中に処分した施設等

該当事項はございません。

(3) 予算及び決算の概要

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	1,203	1,203	0	
施設整備費補助金	26	26	0	
自己収入	375	318	▲ 57	
事業収入	265	238	▲ 27	(注1)
その他収入	110	80	▲ 30	(注2)
計	1,604	1,547	▲ 57	
支出				
業務費	1,371	1,155	▲ 216	
業務経費	826	636	▲ 190	(注3)
人件費	545	519	▲ 26	
一般管理費	207	192	▲ 15	
施設整備費	26	26	0	
計	1,604	1,373	▲ 231	

※百万円未満を四捨五入のため、各項目の合計と合計欄が合わないことがあります。

(注1) コロナ禍による入園者数の減によるものです。

(注2) 大阪市からの負担金収入の減（動物園、大阪市一括発注業務委託の減）によるものです。

(注3) 改修工事発注金額の減によるものです。

(4) 業務経費等の削減

- ・ 規程に基づき可能な限り競争入札を実施するとともに、契約期間を長期化することによって金額の低減に努めました。
- ・ 電気の共同調達により、コストダウンを図りました。
- ・ Amazonほしい物リストの活用で備品経費の節減を図りました。

5 事業の説明（財源の内訳）

当法人の経常収益は1,476百万円で、その内訳は運営費交付金収益1,138百万円、(収益の77.1%)
入園料収入238百万円 (16.1%)、寄付金収益13百万円 (0.9%) などとなっております。